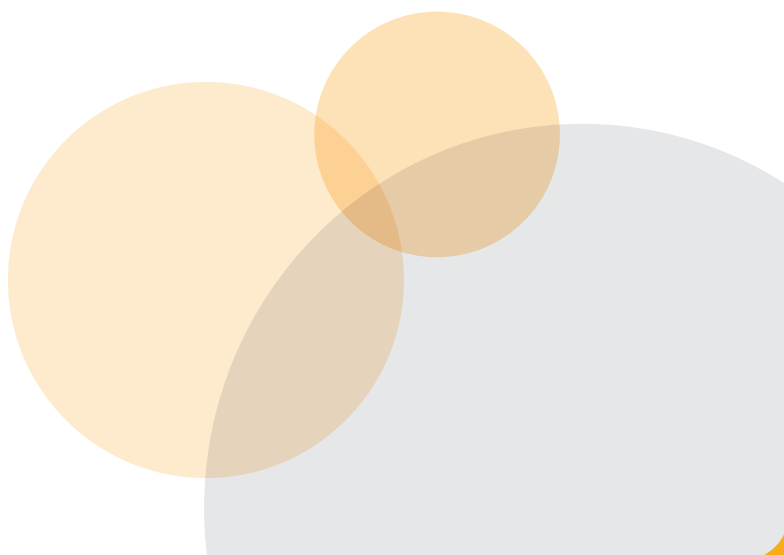


# 第4部

## 計画の実現に向けて

- 1 フォローアップ（検証）
- 2 進捗管理
- 3 見直し





従来、行政の計画は、効果検証を伴わない施策等もあり、フォローアップ（検証）の仕組みが確立されていませんでした。

第5次振興計画の実現にあたっては、町民、事業者の理解と協力が不可欠であり、計画に定めた目標を達成させるために施策等を着実に推進していくことが重要です。

そこで、第5次振興計画では、明確な成果指標・目標値を設定し、達成度の検証や進捗管理を行います。

## （1）成果指標・目標値の設定

成果指標・目標値の設定の目的は、次のとおりです。

成果指標	・計画、施策の目的を明確にするために設定
目標値	・計画、施策の目的に沿って、達成すべき定量的な成果を明確にする ・達成すべき定量的な成果に対する進捗管理や評価・見直しの根拠とする

成果指標・目標値は、次のポイントに基づき設定しました。

ポイント①	住民満足度（主観的評価指標）と各種統計指標（客観的評価指標）の両方を設定
ポイント②	基本構想に成果指標・目標値を設定するとともに、章ごとに、上位目標に関連する KPI（重要業績評価指標） <sup>※1</sup> と目標値を設定
ポイント③	KPI を補足する指標として、関連する統計指標の項目を設定（目標値は設定しない）

## (2) フォローアップ（検証）

フォローアップ（検証）は、役場内での「内部評価」に加え、町民目線での評価がされるよう、みのわ未来委員会による「外部評価」を組み合わせた仕組みで行います。

統計指標に基づく客観的な検証のほか、より町民の感覚に基づいた評価がされるよう、定期的に住民満足度調査を行い、その結果も踏まえた評価に基づく検証とします。

フォローアップ（検証）は、「PDCA サイクル」<sup>※2</sup>の手法により行います。

計画の掲載範囲外である個別事業についても、事業ごとに目標値を設定して毎年度、進捗管理と事業見直しを行っていきます。



PDCA サイクル

### 用語解説

※1 KPI（重要業績評価指標）

Key Performance Indicator の略。上位目標の達成に向け、政策ごとに達成すべき特に重要な成果指標のことです。

※2 PDCA サイクル

PLAN（計画）・DO（実施）・CHECK（状況把握）・ACTION（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のことです。

第5次振興計画の進捗管理は、効率的、適切に進めていくため、次のスケジュールにより、役場と町民（みのわ未来委員会など）により行います。（情勢の変化などにより、変更する可能性もあります）

進捗管理にあたっては、検証の結果を事業見直しや予算編成に反映し、より良い行政サービスにつなげます。また、町民の評価を取り入れ、町民の声を活かし、計画を推進します。検証の結果については、分かりやすく公表します。

#### 【年間スケジュール（想定）】

	役 場	町 民
4月	事業実施	
5月		
6月		
7月	前年度内部評価	
8月		前年度外部評価
9月	事業見直し	
10月	当年度内部評価	
11月		当年度外部評価
12月	次年度予算反映	
1月		
2月		
3月		

第5次振興計画の計画期間10年の間には、社会情勢の大幅な変化や、新たな政策実行の必要性が出てくる等、振興計画の見直しが必要になることも考えられます。

振興計画を、その時代の状況に合ったものとし、有用なものであり続ける様にするため、以下のとおり見直しを行えるものとしします。

## (1) 見直しを行うケース

見直しを行うケースは、以下のものを想定し、その他必要性に応じて臨機応変に対応します。

### ケース①：法令改正等による見直し

法令や条例などの制定・改正や、国等の政策の変更に伴い、計画を変更する必要性が生じた場合

### ケース②：検証結果等による見直し

年度毎実施する、内部評価及び外部評価に基づく検証の結果、計画の変更が必要だと判断される場合や、社会情勢の大幅な変化により、計画を変更する必要性が生じた場合

### ケース③：マニフェスト等による見直し

町長が選挙において掲げたマニフェスト（公約）の内容により、計画を変更する必要性が生じた場合

## (2) 見直しの方法

見直し計画の原案は、計画策定と同様、町民の参加により作成します。

原案に基づき策定された見直し計画案は、箕輪町協働のまちづくり基本条例第20条第3項の規定に基づく議会議決事項として、町議会に提出し、議決の上、計画を見直すこととします。